

山口県観光V字回復プラン（概要）

第1章 計画策定にあたって

1 策定趣旨

- ・長期間の新型コロナウイルス感染症の影響により、観光需要は低調のまま推移
- ・観光産業は裾野が広いことから、地域経済に与える影響が極めて大きく、本県経済は厳しい状況にある
- ・この危機に対処し、本県観光をV字回復させるため、反転攻勢に向けた実効性の高い取組を短期集中的に実施していく指針として、計画を策定する

2 計画の性格

- ・「おいでませ山口観光振興条例」第9条に規定する「推進計画」
- ・「やまぐち維新プラン」（2018～2022年度）の観光分野に関する個別計画（分野別計画）

3 計画期間

令和3年度（2021）から令和4年度（2022）までの2年間

※「やまぐち維新プラン」を踏まえた計画期間

第2章 本県観光を取り巻く現状と課題

1 我が国の観光の現状

- ・世界的に新型コロナウイルス感染症が拡大
- ・国では感染拡大防止のための水際対策の強化や緊急事態宣言を発出
- ・訪日外客数は▲87.1%（JNTO推計）、日本人延べ宿泊者数は▲35.2%（観光庁確定値）など、過去に例が無い深刻な影響が生じている

2 国の観光施策

- ・観光立国推進基本法に基づく「観光立国推進基本計画」（2017～2020）については、計画改定に向けた議論が継続中
- ・「感染拡大防止と観光需要回復のための政策プラン」を決定し、令和3年度観光庁関連予算等に反映

3 本県観光の現状と課題

- ・令和2年は、延べ宿泊者数が前年比▲17.3%、観光客数が▲38.7%と大幅な減少
- ・「おいでませ山口観光振興計画」（2016～2020年度）の目標達成状況は、基本指標が2（全6）、個別指標が1（全9）、参考指標が0（全2）
- ・基本指標のうち観光客数と観光消費額は、一時的に目標を達成したものの、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、未達成となった

課題1 新型コロナウイルス感染症への対応

宿泊施設等における感染拡大防止、観光関連産業の事業継続、落ち込んでいる観光需要の喚起対策

課題2 「おいでませ山口観光振興計画」の総括を踏まえた対応

社会変革に即した、デジタル技術の実装や新たな観光トレンド・社会的ニーズの取り込み、感染症収束後の観光振興に向けた取組

4 令和2年度に県が行ってきた新型コロナウイルス感染症への取組

令和2年度は、感染拡大防止対策や活動再開支援、需要喚起、社会変革への取組を進め、観光産業の回復を図った。

ア：観光交流施設等における感染拡大防止対策

- ・宿泊施設における感染拡大防止対策の取組支援
- ・公共交通事業者等が行う感染拡大防止対策の取組支援

イ：観光関連産業の事業継続に向けた支援

- ・宿泊施設における「新しい生活様式」への対応を支援
- ・魅力的な観光コンテンツの造成や動画配信による魅力発信を支援

ウ：観光需要及び特産品需要の喚起対策

- ・「行こうよ。やまぐちプレミアムキャンペーン」や「おいでませ山口館プレミアム商品券」による観光需要・特産品需要の喚起
- ・県内の自然や文化体験コンテンツを楽しめるキャンペーンの展開により、近距離志向・屋外志向の観光ニーズに応えながら観光需要を喚起

エ：コロナ禍における観光ニーズ等への対応

- ・持続可能な観光地域づくりを戦略的に進めるため、ビッグデータを取得し、本県の観光動態及びその課題等を詳細に把握・分析
- ・アウトドアスポーツ推進のための人材育成・情報発信や、「陸・海・空」のアウトドアアクティビティが体験できるイベントを開催

第3章 本県観光が目指すべき方向と施策展開

1 基本的な方向

「安心・安全」な旅行を実現するため、新型コロナウイルスの更なる感染拡大に備えるとともに、観光関連産業の基盤強化や観光需要喚起など、社会経済活動の引き上げに向けた集中的な対策の実施に取り組む。

あわせて、新型コロナウイルス感染症によって生じた新たな観光トレンドや社会的ニーズを確実に取り込み、社会変革に即した施策を重点的に推進。

①：感染拡大防止と経済回復に向けた集中的な対策

②：コロナの時代における社会変革に即した重点施策

2 施策の体系・方向性

(1) 感染拡大防止と経済回復に向けた集中的な対策

ア：「安心・安全」な旅行を実現するための徹底した感染防止対策

- ・ 宿泊施設等における更なる感染拡大防止対策の推進
- ・ 公共交通機関における更なる感染拡大防止対策の推進

イ：観光産業の基盤強化につなげる事業継続支援

- ・ 宿泊施設における「新しい生活様式」への対応や、高付加価値化・収益力の向上を図る取組を支援
- ・ 長引くコロナ禍で利用が低迷する公共交通事業者の事業継続を支援

ウ：県経済を回復基調に導く観光需要の喚起対策

- ・ 疲弊した観光産業の回復に向け、宿泊施設を軸とした観光需要の喚起や県内旅行需要の喚起等

(2) コロナの時代における社会変革に即した重点施策

ア：デジタル技術の実装による交流促進

- ・ 観光事業者によるデジタルプラットフォームを活用した情報発信やマーケティングを支援
- ・ 県立2美術館の収蔵品のデジタル化を進め、オンライン展覧形式で公開するなど、美術館の機能を強化

イ：新たな観光トレンドや社会的ニーズの積極的な取り込み

- ・ 自然体験への志向の高まりを受け、キャンプとアウトドアアクティビティを気軽に楽しめる、スポーツツーリズムを推進

- ・コロナの時代におけるトレンドやニーズを踏まえた効果的な観光プロモーションの展開
- ・新たな人の流れを呼び込む、仕事と休暇を組み合わせた「ワーケーション」の推進

ウ：感染症収束後の観光振興に向けた戦略的な取組

- ・感染収束後の人やモノの流れの回復や拡大を支えるための交通ネットワークの維持・充実や、海外自治体との交流等の推進
- ・感染収束後のインバウンド需要を確実に取り込むための誘客対策と受入環境の充実・強化

3 数値目標

県政運営の指針である「やまぐち維新プラン」（2018～2022 年度）で掲げる目標に向けて、各種取組を推進する。

No	指 標	目 標
①	観光客数	3,400 万人以上
②	延べ宿泊者数	550 万人
③	サイクルイベント参加者数	3 万人
④	県立美術館の入館者数（2018～2022 年度平均）	25 万人以上
⑤	外国人延べ宿泊者数	20 万人以上
⑥	クルーズ船寄港回数（2018～2022 年累計）	400 回
⑦	山口宇部空港の年間利用者数（定期便）	105 万人
	国際便の年間利用者数（定期便＋チャーター便）	5 万人
⑧	岩国錦帯橋空港の年間利用者数（定期便）	52 万人

4 進行管理

計画に掲げる施策の着実な実行を図るため、進捗状況や数値目標の達成度については、「山口県観光審議会」に報告するとともに、成果重視の観点から検証を行い、施策の改善、見直しにつなげる。